

卒業演習(日本史8)－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-416

選択必修 2単位

高杉 洋平

1. 授業の概要(ねらい)

皆さんは史学科の学生です。医学部の学生が医学の専門家(もしくは専門家を目指す人)であるのと同様に、皆さんは歴史の専門家(もしくは専門家を目指す人)です。史学科に入った以上、専門家になってもらいます。そして専門家とはなんぞや?歴史上の固有名詞や年号をたくさん知っている人でしょうか?確かにそれも重要でしょう。しかしそれだけでは単なる物知りであって、専門家(プロ)とは言えません。医者が医者たる所以(ゆえん)は、医学上の知識の多少ではなく、その知識を活用して患者を治療できるか否かにあります。歴史の専門家も同じです。皆さんには歴史を通じて、現代政治や人間性を論じる能力を身に付けてもらいます。そういうわけで頑張りましょう。

2. 授業の到達目標

- ①日本近現代史の研究の最前線を知る。
- ②発表・討議の能力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点100%

4. 教科書・参考文献

教科書

筒井清忠編 昭和史講義 筑摩書房

筒井清忠編 昭和史講義 戦後篇(上) 筑摩書房

5. 準備学修の内容

発表者は担当箇所を精読し、レジュメを作成する。発表者以外も、事前にテキストを読んで、自分の意見・感想をまとめること。

6. その他履修上の注意事項

教科書を買うこと。教科書販売コーナーで買えます。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 発表・ディスカッション
- 【第3回】 発表・ディスカッション
- 【第4回】 発表・ディスカッション
- 【第5回】 発表・ディスカッション
- 【第6回】 発表・ディスカッション
- 【第7回】 発表・ディスカッション
- 【第8回】 発表・ディスカッション
- 【第9回】 発表・ディスカッション
- 【第10回】 発表・ディスカッション
- 【第11回】 発表・ディスカッション
- 【第12回】 発表・ディスカッション
- 【第13回】 発表・ディスカッション
- 【第14回】 発表・ディスカッション
- 【第15回】 まとめ・補足(LMS)